

平成31年度全国学力・学習状況調査の結果

阿波市教育委員会

1 はじめに

今年4月、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に、「平成31年度全国学力・学習状況調査」が実施されました。

阿波市におきましては、阿波市全体の結果概要と改善の方策等について広く市民に公表し、保護者や地域の方々のご理解とご協力を得ながら効果的な学力向上対策を推進していきたいと考えています。今後とも、学力向上についてのさまざまな施策の推進にご協力くださいますようお願いいたします。

※ 本市では、学力調査の数値結果や個々の学校名の公表は行っておりません。

2 全国学力・学習状況調査の概要について

(1) 調査対象

○小学校第6学年及び中学校第3学年の全児童・生徒

(2) 調査内容

①教科に関する調査（小学校：国語 算数，中学校：国語 数学 英語）

平成31年度調査より、全ての教科において知識・活用を一体的に問う問題形式となったため、従来のA B区分がなくなりました。

②生活習慣や学習環境等に関する調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査。 など	学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査。 など

(3) 実施日 平成31年4月18日（木）

3 調査結果

(1) 教科に関する調査結果

平成31年度から「知識」と「活用」を一体的に問う問題形式で実施されることになりました。

① 小学校

教科等	学習指導要領の領域等での結果
国語	「書くこと」の領域に関しては課題が見られますが、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域に関しては全国平均を上回っています。
	評価の観点での結果
	「書く能力」の観点に関して課題が見られます。「国語への関心・意欲・態度」の観点は全国平均と同等で、「話す・聞く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」については全国平均を上回っています。
	問題形式での結果
	「記述式」に関しては全国平均と同等ですが、「選択式」と「短答式」に関しては全国平均を上回っています。

教科等	学習指導要領の領域等での結果
算数	「量と測定」の領域は全国平均とほぼ同等で、「数と計算」「数量関係」「図形」の領域に関しては全国平均と同等になっています。
	評価の観点での結果
	「数学的な考え方」「数量や図形についての技能」「数量や図形についての知識・理解」すべての観点について全国平均と同等となっています。
	問題形式での結果
	「記述式」に関しては全国平均とほぼ同等で、「選択式」と「短答式」に関しては全国平均と同等となっています。

② 中学校

教科等	学習指導要領の領域等での結果
国語	「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域に課題が見られますが、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域に関して全国平均と同等となっています。
	評価の観点での結果
	「言語についての知識・理解・技能」の観点に課題がみられますが、「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」の観点は全国平均と同等となっています。
	問題形式での結果
	「短答式」に関しては全国平均とほぼ同等で、「選択式」と「記述式」に関しては全国平均と同等となっています。

教科等	学習指導要領の領域等での結果
数学	「図形」の領域は全国平均とほぼ同等で、「数と式」「関数」「資料の活用」の領域は、全国平均と同等となっています。
	評価の観点での結果
	「数学的な技能」の観点は全国平均とほぼ同程度で、「数学的な見方や考え方」「数量や図形などについての知識・理解」の観点は全国平均と同等となっています。
	問題形式での結果
	「短答式」「記述式」に関しては全国平均とほぼ同等で、「選択式」に関しては全国平均と同等となっています。

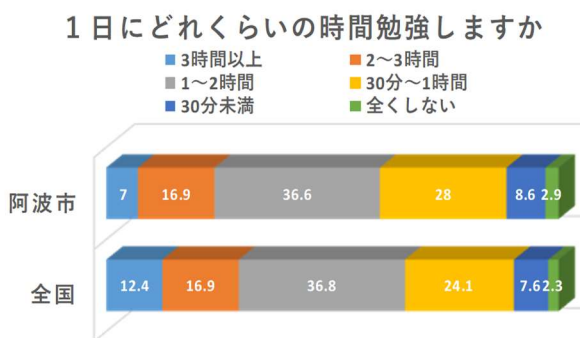
教科等	学習指導要領の領域等での結果
英語	「書くこと」の領域において全国平均とほぼ同等で、「聞くこと」「読むこと」の領域では全国平均と同等となっています。
	評価の観点での結果
	「言語や文化についての知識・理解」の観点は全国平均とほぼ同等、「外国語理解の能力」の観点は全国平均と同等ですが、「外国語表現の能力」の観点では全国平均を上回っています。
	問題形式での結果
	「短答式」に関しては、全国平均とほぼ同等となっており、「選択式」「記述式」では、全国平均と同等となっています。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する調査結果

①小学校

○学習時間

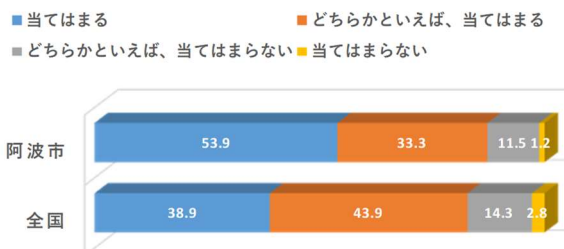
「平日に授業以外で1時間以上勉強する」と回答した児童について、全国平均と比較すると約5ポイント低いことが分かりました。



○授業で学んだことをほかの学習に生かしている

全国平均と比較すると、「授業で学んだことをほかの学習に生かしている」と回答した児童が約4ポイント高いことが分かりました。

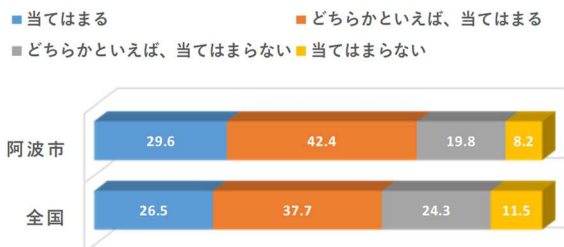
授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか



○国語・算数の勉強が好き

全国平均と比較すると、「国語の勉強が好き」と回答した児童が、約8ポイント「算数の勉強が好き」と回答した児童も約5ポイント高いことが分かりました。また、算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていると回答した児童は、5ポイント高いことが分かりました。

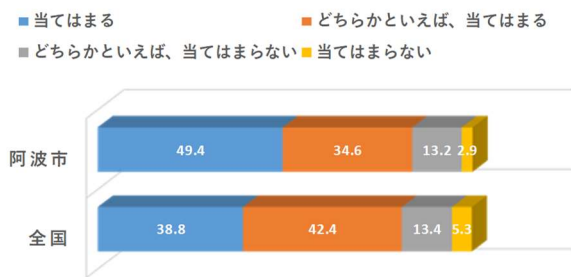
国語の勉強は好きですか



○自分には、よいところがある

全国平均と比較すると、「自分には、よいところがある」と回答した児童が、約10ポイント高いことが分かりました。

自分には、よいところがあると思いますか

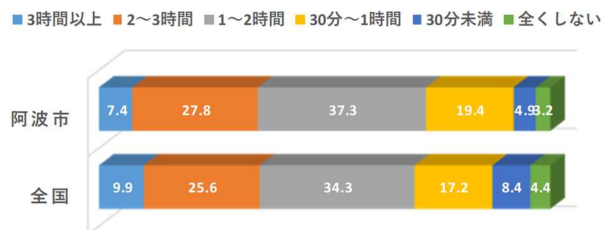


②中学校

○学習時間

全国平均と比較すると、「平日に授業以外で2時間以上勉強する」と回答した生徒は、全国平均とほぼ同程度になっています。また1時間以上勉強する生徒の割合は約3ポイント高いことが分かりました。

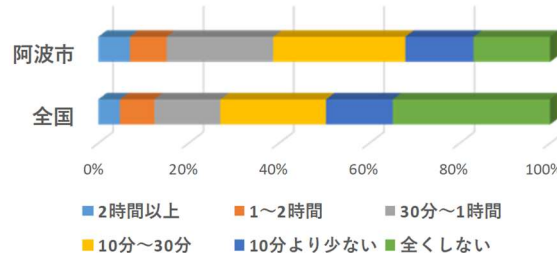
1日にどれくらいの時間勉強しますか



○読書時間

全国平均と比較すると、1日の読書時間が30分以上の生徒の割合は、12ポイント高いことが分かりました。

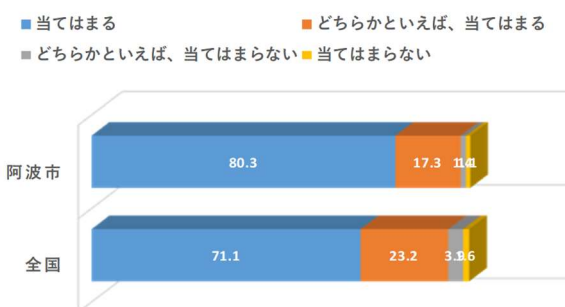
1日にどれくらい読書しますか



○人の役に立つ人間になりたいと思うか

全国平均と比較すると、「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した生徒が約3ポイント高いことが分かりました。

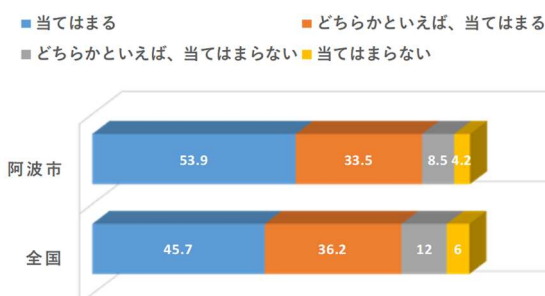
人の役に立つ人間になりたいと思いますか



○学校に行くのは楽しいか

全国平均と比較すると、「学校に行くのは楽しい」と回答した生徒が、約6ポイント高いことが分かりました。

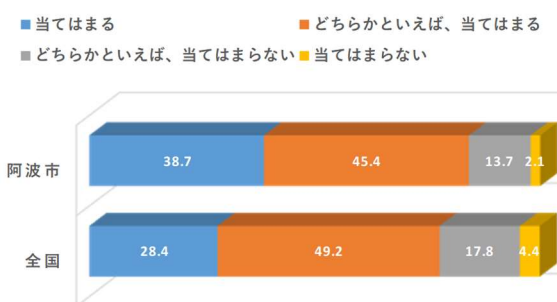
学校に行くのは楽しいと思いますか



○国語・数学の授業の内容はよく分かりますか

全国平均と比較すると、「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒が、約7ポイントまた、「数学の授業の内容がよく分かる」と回答した生徒は5ポイント高いことが分かりました。

国語の授業の内容はよく分かりますか



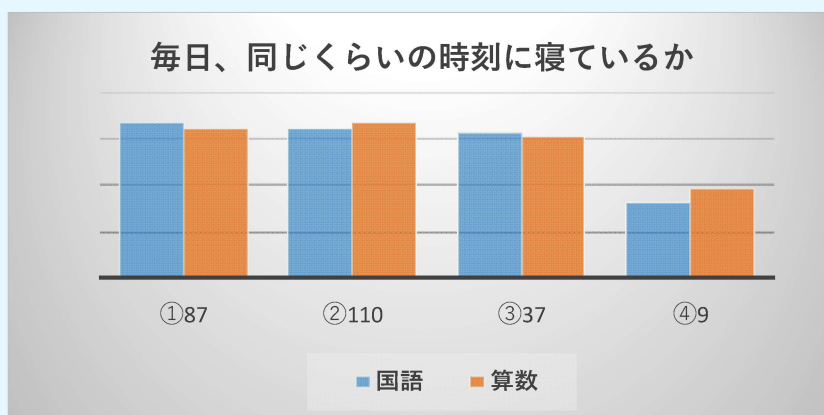
(3) 生活習慣・学習環境と正答率のクロス集計より

○毎日同じくらいの時刻に寝ていることと平均正答率の関係

「毎日同じ時刻に寝ているか」との質問に対する小学生の回答と、各教科の正答率の関係は以下のグラフのようになりました。なお、中学生においても同様の結果となっています。

この結果から、毎日同じ時刻に寝ている児童・生徒の正答率がすべての教科において高い傾向があることが分かりました。

- ① している
- ② どちらかといえば、している
- ③ あまりしていない
- ④ 全くしていない

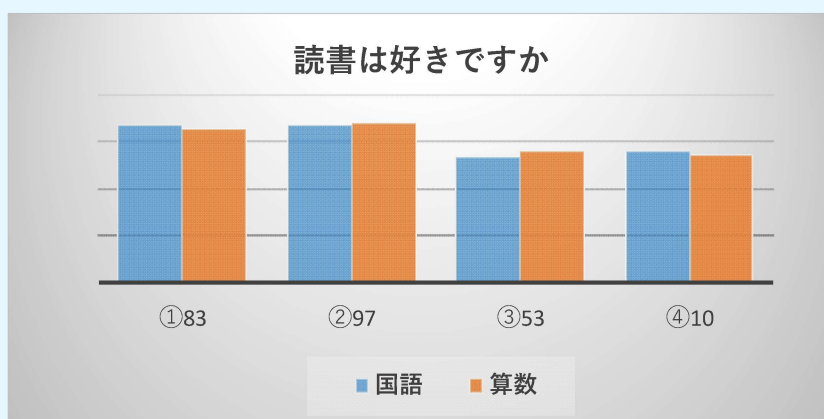


○「読書が好きなこと」と平均正答率の関係

「読書は、好きですか」との質問に対する小学生の回答と、各教科の正答率の関係は以下のグラフのようになりました。なお、中学生についても同様の結果となっています。

この結果から、読書が好きな児童・生徒の正答率がすべての教科において高い傾向があることが分かりました。

- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない

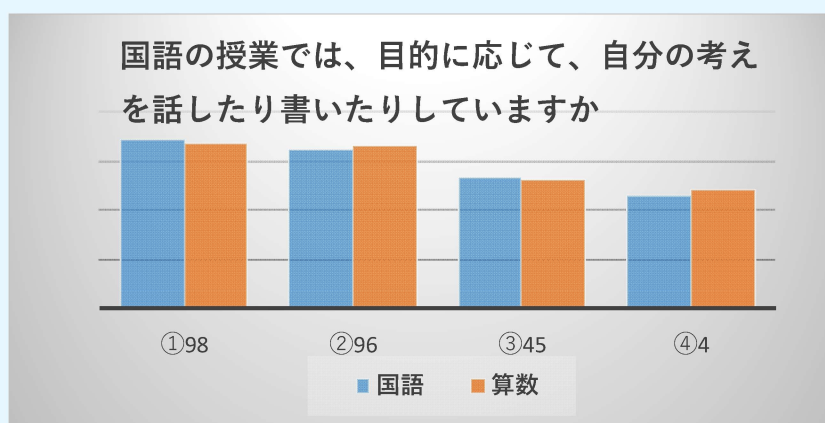


○「国語の授業で、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていること」と平均正答率の関係

「国語の授業で、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか」との質問に対する小学生の回答と、各教科の正答率の関係は以下のグラフのようになりました。なお、中学生についても同様の結果となっています。

この結果から、国語の授業で、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている児童・生徒の正答率が国語・算数の教科において高い傾向があることが分かりました。

- ① している
- ② どちらかといえば、している
- ③ あまりしていない
- ④ 全くしていない

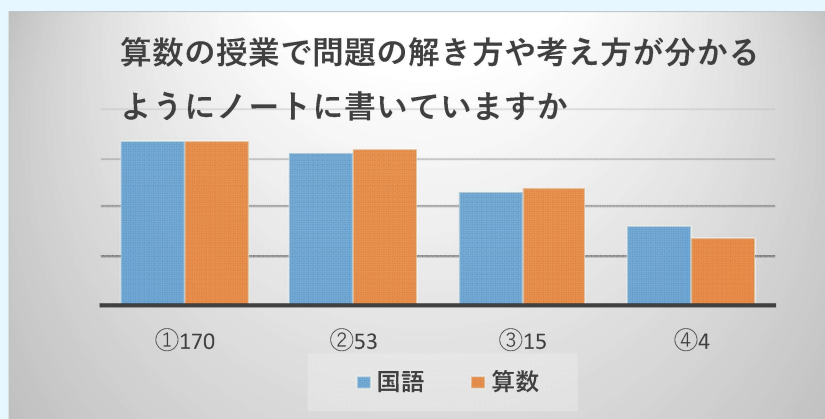


○「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書くこと」と平均正答率の関係

「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」との質問に対する小学生の回答と、各教科の正答率の関係は以下のグラフのようになりました。

この結果から、算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている児童の正答率が国語、算数の教科において高い傾向があることが分かりました。

- ① している
- ② どちらかといえば、している
- ③ あまりしていない
- ④ 全くしていない



4 阿波市の学力向上への取組方針

- 生きて働く「知識・技能」を習得させ、理解していることをどのように使うかという力「思考力・判断力・表現力」を育成し、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養します。
- 学力向上のための教員の研修会を実施し、指導方法の工夫改善に努めます。
- 学力向上推進講師を派遣し、TT 指導や個に対応した支援を行います。
- ICT を活用した学力向上のための取組を推進します。
- 授業公開や研修会等，小中学校の連携を進め，共通取組体制の確立を進めます。
- 読書活動の推進を図り，児童生徒が読書を通して言語に関する興味や関心を高める取組を促進します。
- 家庭と連携して，家庭学習の充実を図ります。

5 保護者・地域の皆さんへ

子どもたちの学力向上に向けて，生活リズムを整え，学習習慣や読書習慣を身につけるためには，学校と家庭や地域が連携しながら進めることが大切です。

家庭学習の充実や基本的な生活習慣の確立に向けてご協力をよろしくお願いします。

- 家庭で学習する習慣を身につけさせましょう。
 - ・ 毎日決まった時刻に学習するなど，計画を立てて学習すること。
 - ・ 学校の宿題を確実にすること。
 - ・ 予習，復習に取り組むこと。
 - ・ 学習に集中できる環境をつくること。
- 基本的な生活習慣を身に付けさせましょう。
 - ・ 早寝・早起き・朝ごはんを習慣づけること。
 - ・ 家族のふれあいや話し合いの時間を設けること。
 - ・ テレビゲームやスマホなどの使用についてのルールを決めること。
- 新聞や本を読む習慣を身につけさせましょう。
 - ・ 親子読書や読み聞かせなど，新聞や本に親しむ環境をつくること。
 - ・ 新聞や本を読むことで，読解力や語彙力を高めること。
 - ・ 社会の出来事に興味を持ち，一般的な知識を身に付けること。

今後ともご協力くださいますようお願いいたします。